

食品事業者等による栄養改善の国際展開推進事業 [拡充]

【68(68)百万円】

対策のポイント

アフリカ・アジアにおいて、現地の食品事業者等に対する栄養改善に関する啓発や食品ロス・廃棄物を削減するための取組を支援します。

<背景/課題>

- ・世界では約8億人が栄養不足状態にあり、2015年に採択された国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」では、「飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する」ことが位置づけられています
- ・また、「健康・医療戦略」(平成26年7月22日閣議決定)においても、「日本の優れた栄養強化食品などの研究開発力をいかし、新興国・途上国を含む各国の栄養改善のため、官民連携を通じた包括的(インクルーシブ)ビジネスを含む事業の国際展開を進める」とされています。
- ・このため、日本のこれまでの経験を活かして、アフリカ・アジアにおける食品事業者等の栄養改善の取組を推進し、栄養不足人口削減に貢献していくことが必要です。
- ・また、これらの取組について、G7伊勢志摩サミット、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック、第6回アフリカ開発会議(TICADVI)において情報発信を行ったところであり、引き続き、2020年の東京オリンピック・パラリンピック等の機会を捉えて、我が国の栄養改善の取組を情報発信し、世界に栄養改善に取り組むことの重要性をアピールしていくことが必要です。

政策目標

- 講義・セミナー参加者の8割の栄養改善意識の向上
- 実証を行う食品事業者等で食品ロスを削減するマニュアルを作成・普及

<主な内容>

1. 「栄養改善とフードバリューチェーン」講座・セミナーの開催 [拡充]

54(52)百万円

アフリカ・アジアにおいて、栄養改善に関する啓発を行うため、栄養学を専門としていない農学部、経営学部等の大学生や地域の食品事業者等を対象に、実施国の実態に合った“生きたカリキュラム”を作成し、講義・セミナーを開催します。また、幅広く活用可能なeラーニングシステムを構築し、栄養に関する意識向上の普及を図ります。

2. サプライチェーンにおける食品ロス削減事業

14(16)百万円

食品の適切な保管・管理によって食品ロス・廃棄物を削減し、無駄なく食品を提供するための実証事業を行い、サプライチェーンの各段階における適切な保管・管理によって発生するロスを削減するためのマニュアルを作成し、実証国内における展開を図ります。

〔 拠出先：国際連合食糧農業機関 (FAO)
事業実施期間：平成28年度～平成32年度 〕

お問い合わせ先：

大臣官房海外投資・協力グループ
食料産業局企画課
バイオマス循環資源課

(03-3502-5913)
(03-3502-5742)
(03-6744-2066)

食品事業者等による栄養改善の国際展開推進事業

【事業概要・目的】

アフリカ・アジアの途上国において、現地の食品事業者等に対する栄養改善に関する啓発や食品ロス・廃棄物を削減するための取組を、日本の食品事業者等の協力も得て支援することにより、栄養不良人口の削減に貢献。

背景

- ✓ 約8億人の人々が慢性的な低栄養状態。最低エネルギー必要量や必要な栄養素を満たすだけの食料を確保することができていない。
- ✓ 20億人がビタミンとミネラルの欠乏等の栄養不良状態。

健康・医療戦略

(平成26年7月22日閣議決定)(抄)
(前略)日本の優れた栄養強化食品などの研究開発力をいかし、新興国・途上国を含む各国の栄養改善のため、官民連携を通じた包括的(インクルーシブ)ビジネスを含む事業の国際展開を進める(後略)

事業内容

「栄養改善とフードバリューチェーン」 講座・セミナーの開催(拡充)

- ✓ 現地の食品事業者等を対象に、実態に合った“生きたカリキュラム”を作成し、講義・セミナーを開催。
- ✓ 作成したカリキュラムをベースに、実施国以外も活用可能なeラーニングシステムを構築。

サプライチェーンにおける 食品ロス削減事業

- ✓ サプライチェーンの各段階における適切な保管・管理によって発生するロスを削減するための実証事業を行い、マニュアルを作成・普及。

期待される成果

- ✓ 現地の食品事業者等の栄養改善の推進により、アフリカ・アジアにおける栄養不足人口の削減に貢献。
- ✓ アフリカ・アジアの国々での栄養に関する意識の向上を図り、もって、我が国食品事業者が現地で栄養改善の取組を行う環境整備を推進。
- ✓ 食品ロス・廃棄物を削減し、食料の安定供給によるエネルギー確保と栄養改善を推進。

資金
の流れ



日本国

拠出金
(100%)



国連食糧農業機関
(FAO)